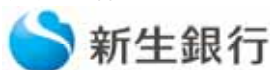
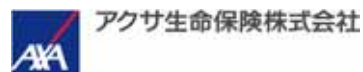


募集代理店



引受保険会社



2007年度
特別勘定の現況
(世界分散型40AL(501)/世界分散型20AL(502))
決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用
状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よりしくお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

お問い合わせ先 **0120-375-193**

*受付時間:平日9:00~17:00(土・日・祝日および12月31日から1月3日は休業とさせていただきます。)

STATE STREET
GLOBAL ADVISORS | SSGA

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、世界有数の金融機関である米国ステート・ストリート銀行グループに属します。
1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。また、母体であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ
(SSGA)は、世界有数の資産運用額を誇る米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門です。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立
された歴史と伝統ある金融機関です。

2008年7月1日付で、「ステート・ストリート投信投資顧問株式会社」は、「ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社」へ商号変更いたしました。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するための
ものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性
については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、
「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていきますので、合計等と合致しない
ことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2007年4月～2008年3月]

【日本株式市場】

米国サブプライム向け住宅ローンに端を発する信用収縮懸念の余波を受けて、日本の株式市場も夏場に大きな調整に見舞われました。米金融当局による利下げなどを好感して一時反発する場面もあったものの、10月中旬以降は欧米金融機関によるサブプライム・ローンに絡む損失の発表を嫌気して再び下落に転じました。さらに一段の円高進行と米国の景気後退懸念の高まりも相場の下げを加速する方向に作用しました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、米金融機関傘下のヘッジファンドが破綻するなどサブプライム・ローン問題に端を発する信用収縮懸念が広がったことから、夏場に大きな調整に見舞われました。8月の米公定歩合の緊急引き下げと9月の米FF金利の引き下げを好感して反発する場面もありましたが、欧米の金融機関によるサブプライム・ローン関連の損失発表をきっかけに再び下落し、さらに米景気の減速懸念の高まりも相まって大幅な調整を余儀なくされました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、世界的な信用収縮懸念の台頭から投資家のリスク回避傾向が高まり、また、各国中銀が市場の混乱を回避すべく金融緩和策へと転じる中で、日銀が積極的に利上げを実施することは困難との見方が強まったことを背景に債券が選好される展開となりました。さらに期後半には、米景気減速の波及懸念や物価上昇による内需鈍化懸念、日銀総裁不在を受けた金融政策の不透明感の高まりなどを受けて債券利回りが低下する堅調な展開となりました。

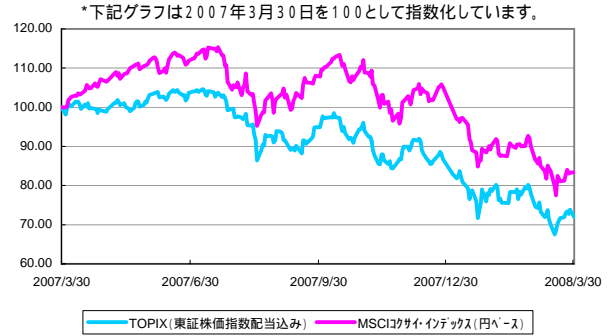
【外国債券市場】

米国市場は、サブプライム・ローン問題の深刻化を受けてリスク回避傾向の高まりから債券が選好されたことに加え、米連邦準備制度理事会（FRB）が緊急利下げを含む複数回に渡る大幅な金融緩和策を実施したことが債券利回りの低下圧力につながり、期末にかけて堅調な展開が続きました。
欧州市場は、前半はインフレ懸念を背景とした欧州中央銀行（ECB）の利上げスタンスの継続を受けて債券利回りが上昇する軟調な展開が続いたものの、後半は、米サブプライム・ローン問題の影響が欧州へ波及する中でECBが利上げを休止し、政策金利の据え置きを継続したことから、もみ合いながら債券利回りが低下する展開となりました。

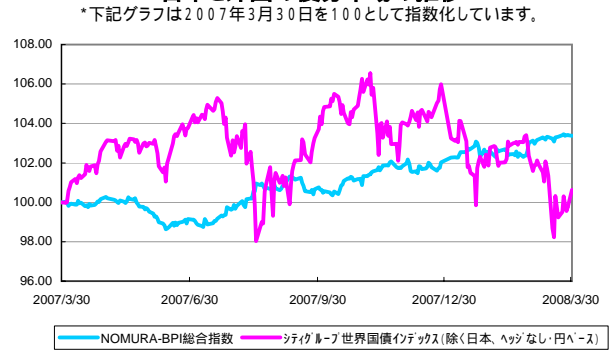
【外国為替市場】

米ドル・円は、米サブプライム・ローン問題の深刻化を受けてリスク回避姿勢が強まる中、円キャリー・トレードを手仕舞う流れを受けて円が買い戻され、一時はおよそ12年半ぶりとなる95円台まで円高・米ドル安が進行しました。ユーロ・円は、米ドル・円と同様に大きく円高が進行する局面があったものの、期後半にはFRBが利下げスタンスへと転換する一方でECBが政策金利の据え置きを継続したことから米欧金利差の逆転と拡大を背景に対米ドルでユーロが最高値を更新して上昇し、対米ドルでの円高とユーロ高が相殺するかたちでもみ合う展開となりました。

日本と外国の株式市場の推移

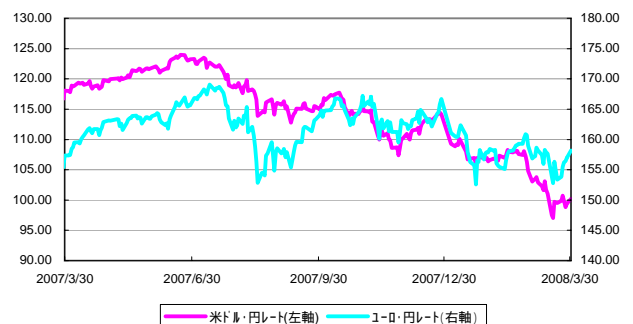


日本と外国の債券市場の推移



出所: ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所: ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

TEL:0120 375 193

アクサ生命 Axa 株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

【募集代理店】

株式会社新生銀行

〒100-8501 東京都千代田区内幸町2 1 8

TEL:0120 456 860

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型40AL(501)」の運用方針および運用状況 [2008年3月末日現在]

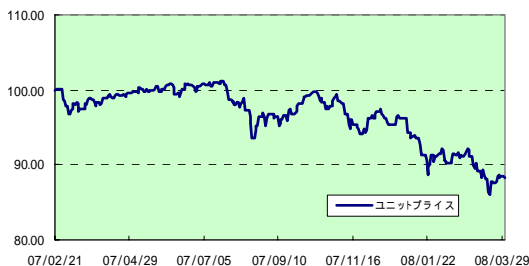
特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型40AL(501)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も今年度と同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>	当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券20%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券30%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券20%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券30%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う 実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の 変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク

特別勘定の運用コメント（2007年4月1日 - 2008年3月末日）

2007年度のユニット騰落率は10.30%となりました。株式資産については、米国サブプライム向け住宅ローンに端を発する信用収縮懸念と欧米金融機関によるサブプライム関連の損失計上が主因となり、大幅な調整を余儀なくされて、期末を迎えました。日本・外国株式への資産配分比率が合わせて40%を占めることから、株式市場の推移がユニットプライスに影響を与えました。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2008年3月末	88.22	過去1ヶ月	3.23
2007年12月末	96.29	過去3ヶ月	8.38
2007年9月末	98.12	過去6ヶ月	10.08
2007年6月末	100.43	過去1年	10.30
2007年3月末	98.36	過去3年	-
-	-	設定来	11.77

- ・世界分散型40AL(501)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月20日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40AL(501)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	21,736,273	98.6
現預金・コールローン	261,705	1.2
その他	39,762	0.2
合計	22,037,741	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	225
有価証券売却益	-
有価証券評価益	2,829
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	-
有価証券売却損	-
有価証券評価損	1,843,464
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	-
収支差計	1,846,068

保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定「世界分散型20AL(502)」の運用方針および運用状況 [2008年3月末日現在]

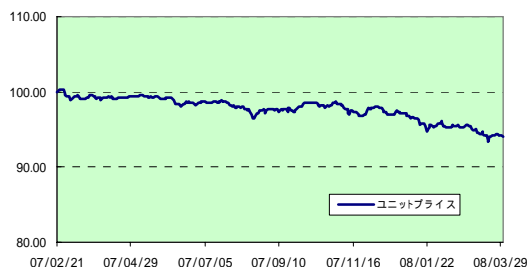
特別勘定名	特別勘定の運用方針
世界分散型20AL(502)	当特別勘定は、主として国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託を運用対象としており、次年度も同様の運用方針で運用します。
利用する投資信託	利用する投資信託の運用方針
ステート・ストリート 4資産バランス20VA <適格機関投資家限定>	当ファンドは、 ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券10%、 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券40%、 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券10%、 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券40%* を基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 *当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う 実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の 変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク

特別勘定の運用コメント（2007年4月1日 - 2008年3月末日）

2007年度のユニット騰落率は 5.13%となりました。株式資産は大幅な下落となりましたが、資産配分比率の40%を占める日本債券が米景気減速の波及懸念や物価上昇による内需鈍化懸念、および日銀の利上げ見送りを背景として上昇基調を辿り、ユニットプライスの騰落率にプラスの影響を及ぼしました。

特別勘定のユニットプライスの推移

特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定のユニットプライス		騰落率(%)	
2008年3月末日	94.08	過去1ヶ月	1.48
2007年12月末日	97.23	過去3ヶ月	3.24
2007年9月末日	98.03	過去6ヶ月	4.03
2007年6月末日	98.59	過去1年	5.13
2007年3月末日	99.16	過去3年	-
-	-	設定来	5.91

- ・世界分散型20AL(502)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月20日)を100.00として計算しております。
- ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型20AL(502)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	4,560,324	99.4
現預金・コールローン	18,128	0.4
その他	10,265	0.2
合計	4,588,718	100.0

- ・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	46
有価証券売却益	-
有価証券評価益	-
有価証券償還益	-
為替差益	-
その他収益	16
有価証券売却損	-
有価証券評価損	116,821
有価証券償還損	-
為替差損	-
その他費用及び損失	148
収支差計	116,906

[引受保険会社]
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL:0120 375 193
アクサ生命 - Axa - http://www.axa.co.jp/life/

[募集代理店]
株式会社新生銀行
〒100-8501 東京都千代田区千代田2 1 8
TEL:0120 456 860

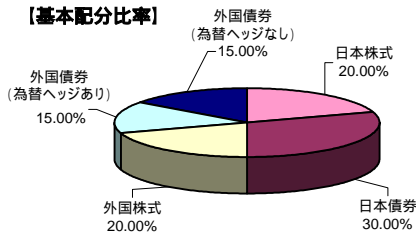
保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考> ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定> の運用状況 [2008年3月末日現在]

ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

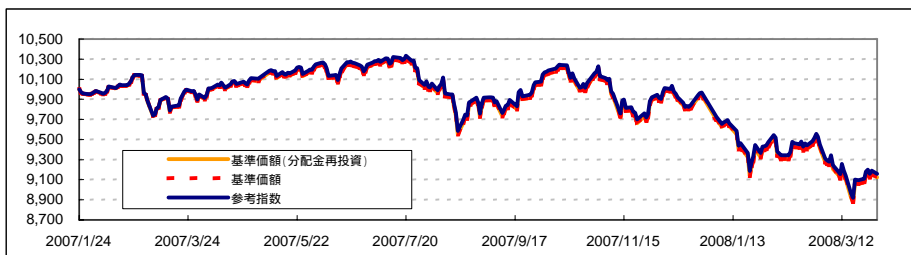
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券:「TOPIX(東証株価指数配当込み)」、
ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券:「NOMURA - BP総合指数」、
ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券:「MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)」、
ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券:「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の50%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス40VA <適格機関投資家限定>の設定日(2007年1月24日)を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%程度(税抜0.25%程度))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)20%、NOMURA - BP総合指数30%、MSCIコクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2008年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,124 円	9,413 円	289 円
純資産総額(百万円)	21,735	20,707	1,028

	基準価額	日付
設定来高値	10,307 円	2007年7月20日
設定来安値	8,879 円	2008年3月18日

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	20.00%	20.00%
日本債券	30.00%	29.83%
外国株式	20.00%	19.90%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	14.92%
外国債券(為替ヘッジなし)	15.00%	15.10%
短期金融資産	0.00%	0.25%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.07%	7.92%	9.12%	8.19%	-	8.76%
参考指数	3.08%	7.82%	9.04%	7.95%	-	8.41%
差	0.01%	0.11%	0.09%	0.24%	-	0.35%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.83%
アメリカ	18.07%
ドイツ	5.20%
イギリス	4.71%
フランス	4.63%

組入上位5通貨

通貨	比率
円	64.75%
米ドル	14.17%
ユーロ	12.53%
ポンド	3.52%
加ドル	1.30%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL:0120 375 193
アクサ生命 **AXA** <http://www.axa.co.jp/life/>

【募集代理店】

株式会社新生銀行
〒100-8501 東京都千代田区内幸町2 1 8
TEL:0120 456 860

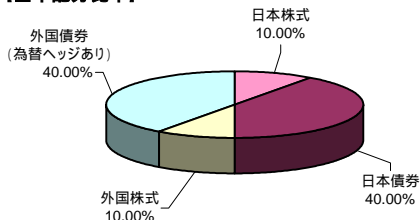
保証金額付特別勘定年金特約（終身型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の現況（2007年度）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

<参考>ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の運用状況 [2008年3月末日現在]

ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

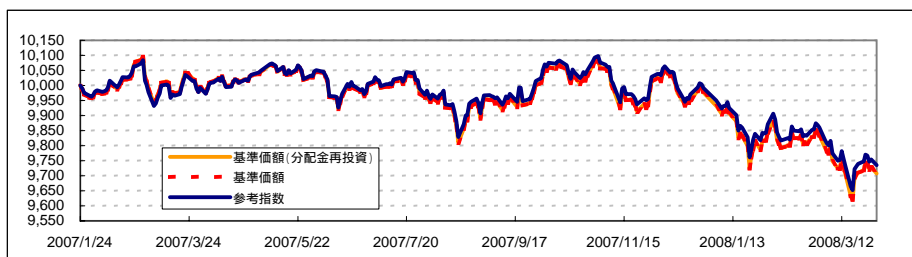
当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券：「TOPIX（東証株価指数配当込み）」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券：「NOMURA - BP総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券：「MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券：「シティグループ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」*

*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）」となります。

基準価額の推移

ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- ・グラフは、ステート・ストリート4資産バランス20VA<適格機関投資家限定>の設定日（2007年1月24日）を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0.2625%程度（税抜0.25%程度））控除後の値です。
- ・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX（東証株価指数配当込み）10%、NOMURA - BP総合指数40%、MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）10%、およびシティグループ世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）40%で組み合わせた合成指数です。

概況

	2008年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	9,707 円	9,834 円	127 円
純資産総額（百万円）	4,560	4,394	166

	基準価額	日付
設定来高値	10,095 円	2007年2月27日
設定来安値	9,620 円	2008年3月18日

資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	9.93%
日本債券	40.00%	39.62%
外国株式	10.00%	9.97%
外国債券（為替ヘッジあり）	40.00%	39.79%
短期金融資産	0.00%	0.70%
合計	100.00%	100.00%

- ・ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- ・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- ・REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.29%	2.70%	2.93%	2.88%	-	2.92%
参考指数	1.28%	2.57%	2.79%	2.57%	-	2.65%
差	0.02%	0.13%	0.14%	0.31%	-	0.27%

- ・ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しております。
- ・また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- ・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

組入上位5カ国

国名	比率
日本	49.55%
アメリカ	15.53%
ドイツ	6.08%
イタリア	5.19%
フランス	5.19%

組入上位5通貨

通貨	比率
円	89.15%
米ドル	5.18%
ユーロ	1.79%
ポンド	1.18%
加ドル	0.48%

- ・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL:0120 375 193
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

【募集代理店】

株式会社新生銀行
 〒100-8501 東京都千代田区内幸町2 1 8
 TEL:0120 456 860

保証金額付特別勘定年金特約(終身型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険契約管理費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要費用 特別勘定の積立金額に対して年率2.3%	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	特別勘定の運用等に必要費用 投資信託の純資産額に対して年率0.2625%程度(税抜0.25%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用が含まれますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。

* 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】 年金の種類を変更した場合や「年金払特約(06)」により年金としてお受け取りいただく場合です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要費用 年金額に対して1.0%*	年金支払日に控除します。

* 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。一般勘定で運用する年金の支払期間中は、他に年金管理費がかかります。

【その他の留意事項について】

受取総額保証金額(終身型)

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。